



# 校長室だより

校長 山崎 聡子

## 様々な活動を通して

5月1日(火)、体カテストを実施しました。多くのひまわり隊の方々のご協力のもと、安全に活動することができました。ありがとうございました。体カテストの中で子供たちのすばらしい姿がたくさん引き出されました。1年生と6年生、2年生と5年生がペアになり活動しました。様子を見守っていると、手をつないで、低学年の歩調に合わせて行動したり、腰をかがめながら低学年の背の高さに合わせてしっかりと数を数えていたり、高学年が低学年の動きを丁寧に見とり、寄り添っている姿がたくさんありました。また、体カテストの記録用紙を忘れてしまった低学年の子供の記録を自分が持っている紙にそっと記録している姿もあり、すてきなあとと思いました。途中、雨が降ってきてしまい、外で活動していた子供たちが校内へ入ろうと移動を始めていたところに出会いました。その時、低学年の子供が濡れないようにと、探検バックで低学年の子供たちの頭をカバーしている高学年の子供たちの姿がたくさんありました。

5月2日(水)には、登校班会を行いました。地区委員の方々にも参加いただき、ありがとうございました。登校班会では、班長・副班長が低学年の教室へ迎えに行き、地区別の教室まで一緒に移動しました。その中でも、低学年のことを気遣う班長・副班長の姿がありました。3人の1年生を連れて移動をしようとしていた班長が、1年生が持って帰る荷物の忘れ物がないか確認していました。1年生の一人が忘れ物に気付き、移動する前に教室に取りに帰ることができました。細やかな

配慮ができる班長がすばらしいと思いました。さらに、廊下で他の子供とはぐれていた1年生のことも気かけ、困っている状況を報告しに来ました。自分の班ではないけれど、立ち止まって困っている低学年の子供に寄り添う姿に頼もしさを感じました。

温かな眼差しの中で守られていること、無意識の中での行動が、周囲の力になっていることがたくさんあることと思います。多くの力を顕在化させていくことで、お互いの力を感ずることができればと考えています。その中で、子供たちの視野を広げ、心の豊かさにもつなげていきたいと思っています。

## 特別支援教育支援員からの話

子供たちを支えるために配置されている特別支援教育支援員から、4年生の子供がゴミを2つ拾い、さっとゴミ箱に入れていたという話を聴きました。自然に行動する姿がすばらしかったとうれしそうに話してくれました。担任とも共有しクラス全体にも価値づけたとのことでした。その後、2年生の担任から、学校の中にゴミが落ちていたらどうするか、自分の家にゴミが落ちていたらどうするか、学校と自分の家は違うのかという問いかけに2年生が真剣に考え、学校でもゴミを拾っていかうとみんなで確認していたという話も合わせて伝えてくれました。様々なところで大切な価値に繰り返し触れていくことが子供たちを育てていくことにつながると特別支援教育支援員が実感したと話していました。同じ方向を向いて関わっていくことが大きな力になることを確認することができた貴重な出来事でした。大切にしていきたいと思っています。